

自然が失なわれて解る 瀬戸内のよさ

瀬戸内海では、今3か所で架橋工事が進行中で、将来への夢を湧き立たせているが、自然をとり戻す大プロジェクトは見当らない。昔この瀬戸内沿岸では、秋には香り高い松茸が豊富にできた。桜咲く頃には、桜鯛につづいて^{きわら}鱸と季節季節の魚が沢山とれた。何時の間にか松茸はとれなくなり、人工栽培の研究努力にも拘わらず昔に戻りそうにもなく、さらに悪いことにはその松自身が西から枯れはじめて東までなめつくし、沿岸から奥地へと進撃している。海水汚染や赤潮の発生で高級魚はとれなくなり、公害防止対策施行にも拘わらず、暖かくなると赤潮が発生し、養殖魚の斃死を繰り返している。何とかプランクトンを抑える薬剤によって、除草剤のようにピタリ押えられないものかと考える。ベントナイトの投入を九州で考えたが、大量になるとベトナムの枯葉作戦のようにはやれないらしい。松喰虫のへり防除も、種々の障害で旨くゆかず、新しい幹への注入剤も開発されたとか、嬉しいことであるが大面積となると今一つといえよう。これらの事を考えると、大面積に対しても行なえる安上りコントロール法を一日も早く開発して、この自然の崩壊をくいとめて欲しいもので、今のまゝ放置すれば、ずるずると死の海へと変わってゆくであろう。何とかこの海をもとの海に戻し、沿岸諸県の海洋牧場として、あらゆる魚の産卵育成海とし、豊富な海産物の発生源としたいものである。このために、一大プロジェクトを立て、瀬戸大橋プロジェクトに引きついで貰いたいものである。

〔財団法人 日本植物調節剤研究協会理事 末沢一男〕
近畿中国四国支部長

目 次 (第17巻第2号)

湛水土中直播栽培の現状と今後の課題	2
＜農林水産技術会議 浜村邦夫＞	
1. は じ め に	2
2. 湛水土中直播法の三種の神器	2
3. 湛水土中直播の試作面積	3
4. 湛水土中直播栽培の問題点	3
5. 湛水土中直播栽培の将来性	4
参 考 文 献	5
暖地畑作の現状と雑草防除	5
＜九州農業試験場畑作部 岩田岩保＞	
は じ め に	5
1. 九州畑作地帯の区分	5
2. 九州主要畑作地帯の立地条件	7
3. 作 付 体 系	7
4. 雑 草 防 除	9
5. ま と め	13
引 用 文 献	13
昭和57年度リンゴ用除草剤・生育調節剤試験成績概要	14
＜財団法人 日本植物調節剤研究協会＞	
昭和57年度落葉果樹関係除草剤・生育調節剤試験成績概要	20
＜財団法人 日本植物調節剤研究協会＞	
新除草・調節剤	
・メトラクロール・CAT水和剤	30
・ノルフルラゾン粒剤・水和剤	30